

議事録

業務件名	須崎市公共下水道施設等運営事業					
日 時	令和 7 年 10 月 29 日 (水)		自 13:30 ~ 至 14:00			
出席者	須崎市上下水道課 4 名					
	須崎市環境未来課 4 名					
	(株) クリンパートナーズ須崎 (以下 CPS) 8 名					
打合せ場所	須崎市役所会議室	記録作成者	CPS			
資料	・令和 7 年 9 月度すさき家パートナー会議資料 (CPS)					
打合せ事項、対策・合意事項等						
令和 7 年 9 月度すさき家パートナー会議						
1.出席者を確認した。						
2.今月のセルフモニタリングのチェック項目						
・セルフモニタリング会議で確認したチェックリスト項目番号を示した。						
3.経営に関する業務						
・9 月度の財務状況を報告した。						
・法令順守、情報公開に関して、特に問題が無いことを確認した。						
4.汚水管きょ						
・降雨後の巡視は、日降水量 100mm 以上を目安に実施しており、9 月は 5 日 (金) の降水量が 183.5mm、24 日 (水) から 25 日 (木) の降水量が 128.0mm であったため今月度は 2 回実施した。						
・8 人孔の巡視・点検を行った。経年劣化が見られる箇所が数か所あり、今後も引き続き点検、巡視を行っていく。修繕推奨項目リストは前月から変更なし。						
・汚水管きょ 2 箇所の修繕工事については、10 月 7 日に工事が完了し、現在報告書を作成中である。						
5.雨水管きょ						
・8 月度は 23 人孔の巡視、点検を行った。経年劣化が見られる箇所が数か所あり、今後も引き続き点検、巡視を行っていく。						
・修繕推奨項目リストは前月から変更なし。						
(次項へ続く)						

打合せ事項、対策・合意事項等
6.終末処理場
<ul style="list-style-type: none"> ・脱水機スクリーン出口圧力センサーの交換作業を実施した。 ・DHS ろ床No.2 排気ファン差圧計マノメーターの交換作業を実施した。 ・給水ユニット圧力タンクの圧力スイッチが動作不良を起こしたため、交換作業を実施した。 ・当月の生物膜ろ過施設による電力削減率は 29%である。
7.クリーンセンター横浪
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹改良工事のためペットボトル及び缶（アルミ、スチール）を業者へ搬出中である。 ・8日、最終処分場で須崎市と CPS が現場打合せを実施した。 ・14日～25日、基幹改良工事に際して、資源ライン調整負荷運転実施した。 ・26日、破碎機自動給油装置のオイルエレメント交換及びオイルストレーナーの点検・清掃を実施した。 ・29日朝、破碎機ライン始動時に 26日にオイルエレメント交換及びオイルストレーナーの点検・清掃を実施した破碎機自動給油装置が油量不足で停止した。対応として、業者で油量を調整し、運転復旧を行った。その後、オイルフィルターの点検・清掃を実施した。 ・30日、基幹改良工事に際し、資源ライン負荷運転調査を実施した。 ・30日に第一調整槽から原水槽への No.2 移送ポンプ動力異常が発生のため、交互運転から No.1 移送ポンプの連続運転に切替中である。原因調査の結果、No.2 移送ポンプの故障の可能性が考えられるため、早急な更新が必要であり、市との協議の結果、年内の工事発注に向けて、関係業者への手配を進める方針とした。
8.漁業集落排水処理施設
<ul style="list-style-type: none"> ・池ノ浦地区、白浜地区、蜂ヶ尻地区、中ノ島地区の 4 地区は 9 月 4 日及び 19 日、戸島地区は 19 日に、要求水準書に定められた項目に従って保守点検を実施した。 ・池ノ浦地区のばっ氣ブロアーNo.1 及び No.2 の電流値が基準値を上回ったが、フラッシング作業、吸込みフィルターの清掃を行い、正常値に戻っている。
9.雨水ポンプ場
<ul style="list-style-type: none"> ・要求水準書に定められた項目に従って保守点検を実施した。 ・大間ポンプ場にて、燃料タンク小出し槽の油面異常低下の信号接点不良により、リミットスイッチの交換が必要となっていることを確認した。（修繕対応予定） ・浜町ポンプ場にて、自家発電機のバッテリー劣化が確認されたため、交換が必要となっていることを確認した。（修繕対応予定）
10. その他連絡事項
<ul style="list-style-type: none"> ・次回すさき家パートナー会議は、令和 7 年 11 月 27 日午前 10 時開催（保険センター3階研修室）とする。 ・大雨時等で流入水量が増加した際は旧水処理施設でピークカットを行い、減少後に DHS で処理しているほか、インバータ制御による省エネルギー化を図っており、今後は省エネに寄与し須崎市に適用可能な技術がある場合、会議の場で共有することとした。 ・浸出水処理施設の No.1 第三調整槽水中攪拌機の更新日程については未定である。以上